

## 囲いやま森の会 活動記録（第 369 回）

壱岐貞俊

日 時：2018.4.7（土）9:30～13:00 曇

参加者：壱岐/西岡/野口/野口 Y/馬場/森山 計 6 名

年度初めは新緑がまぶしい。樹護の会（15 期の講座修了組）が「金ヶ作野中の森」での仕事始めを終えて、11 時半に、近隣の誼で挨拶に来られ、目の輝きは新緑並みの感があった。末永くチームが発展することを祈る。

### (1) 打合せ等

- ・総会は 4 月 17 日（火）の予定。今日現在参加 5、欠席 4、連絡未 8。早期の連絡乞う。
- ・文化祭参加者：壱岐・野口・野口 y・三嶋
- ・緑のフェスティバル参加者：野口・野口 y・壱岐・西岡
- ・O F 準備：19 日（木）13 時から囲いやまの森でロープ張りなど、15 期の応援有り。
- ・「子どもっと松戸」は来年 1 月 20 日（日）の予定。

### (2) 作業

- ・O F 対応として通路整備の傍ら非公開エリアへの進入路にバリアー設置。
- ・同じく、O F 時見頃の植物について、説明カード設置。
- ・伐倒したスギ材の加工作業開始。ステージ基礎・腰掛等内製予定。

### (3) 自然観察等

- ・圧巻は満開のウワミズザクラで、桜餅の香りに郷愁も覚えた。
- ・植樹後初開花したヤマザクラ？ 往時を偲ぶ先輩メンバーの感慨も一入であった。
- ・ヤマユリやキンランの新たな発芽が観察された。

侵入防止バリケード

満開のウワミズザクラ



○南の広場:マツの西側に植えてある桜が開花して、何ザクラでしょう？ 図鑑を見るとカスミザクラ？と思うようなところもあります。（馬場）

ヤマザクラとして購入したが、カスミザクラに似ていますね。花が咲くとどうも違うといふことがあるようです。（山口）



## 囲いやま森の会 活動記録（第 370 回）

壱岐貞俊

2018. 4. 17（火） 9:30～13:00 曇

参加者：赤石/壱岐/岩田/木村/西澤/野口/野口 Y/馬場/三嶋/山口 計 10 名

総会ということで軽作業と春の森観察のつもりだったが、間近に迫る OF のビラ各戸配布を優先。ご近所の反応を感じつつ配布完了のグループ毎にそれぞれ思い思いに囲いやまの春を楽しんだ。久しぶりの岩田さんは作業エリア南側の様変わりに驚嘆の面持ちであった。11 時 30 分から、昨年同様「みかんハウス」で今年度の総会を開催した。

### (1) 総会

「囲いやま」流の形式ばらないフランクな雰囲気での総会だった。要点を下記する。

- ・春夏秋冬の観察会は今後も優先順位高く継続。
- ・南西景観ゾーンの生かし方、及び倉庫裏手の広場化の要否について今後議論要。尚、みどりと花の基金の助成金については「里やま応援団」関連以外に花壇の整備等の名目での増額に向け取り組む。
- ・作業日が雨で流れた時、臨時作業日の設定は代表に一任。
- ・樹木医診断とそれに続く応援団伐倒訓練は会の活動に対していい刺激になった。この教訓を今後の活動展開に生かす。
- ・シュロ・アオキ・シラカシ等の除去は事前に会員に諮り実施することを再徹底した。
- ・「子どもつと松戸」は来年 1 月 20 日(日)の予定。
- ・今年度の活動計画に「15 期への協力」を追加。19 日は OF 準備に協力要請している。
- ・世話役は留任ベースで臨む。但し、前任退会で会計は赤石さん。尚、佐久間さんは事情を考慮し、副代表：野口さんに交代、OF：西岡さんに協力願う。（西岡さんの了解要）
- ・「高木こども祭り」は 9 月 23 日開催。森の音楽会の集客・地域との連携上優先度高く対応。
- ・井口・池田・鎌原さんは退会。各自が日頃から会員募集の意識を持って臨む。西側看板の有効利用も考慮用要。
- ・そろそろ空腹を覚えるころ、皆さんの拍手で総会終了。昼食の弁当と懇談を楽しみ散会した。

### (2) 作業

- ・ OF 対応として周辺各戸に案内ビラ配布。OF チラシ：囲いやまの森版 1,300 枚

### (3) 自然観察等

- ・ イヌザクラの開花
- ・ キンランの蕾

4月17日 みかんハウスI までの観察



マルバスマレ アマナ  
タチツボスマレ ムラサキケマン



ニワトコ ショカツサイ  
アブラナ 同上



**囲いやま森の会 活動記録（第 371～373 回）**  
**（第 7 回オープンフォレスト）**

壺岐貞俊

**2018. 04. 19（木）** 13:00～16:00 天気：晴

参加者：赤石・壺岐・野口 15 期 石崎・中村・遊佐 6 名

OF 準備（遊具設置、通路・広場の片付け）

**2018. 04. 21（土）** 9:30～15:30 天気：晴

参加者：赤石・壺岐・木村・西岡・野口・野口 y・三嶋・森岡（新入会員） 8 名

来森者：63 名

**2018. 04. 22（日）** 9:00～16:00 天気：晴

参加者：壺岐・西澤・野口・野口 y・馬場・森岡・森山・山口 千葉大：中尾 9 名

来森者：76 名

**公開内容：**森の案内 紙芝居 ハンモック 2 木登りネット ロープネット登り ブランコ  
ターザンロープ スラックライン 手工作体験 樹木切断体験

19 日は臨時の作業日を設定し遊具の設置。樹護の会(15 期生)3 名が駆けつけてくれた。赤石さんは黙々と会場の見回りと片付けに精を出しておられた。「樹護の会」との協調は「囲いやま」の今年のテーマであるが、幸先良いスタートが切れた気がする。

21 日は朝一でスラックラインとブランコを設置。駅への来訪者お迎えが重なり人手のやり繰りに一苦勞。木村さん、それに新入会員 森岡さんの頑張りは特筆ものだった。駅集合の皆さんの意外な多さに感動するが、果たして満足して貰えるか、一方では心配になる。  
来訪者は昼食込の方も多く、遊具、工作、森散策等をゆっくり楽しんでおられたようである。  
63 名の来訪者は記録的には多いのに、混雑の様子もなく、受付・アンケートの手続きも和やかに進んでいたようだ。

22 日は、ツアー無しで 76 名もの来訪者があり一日中森は賑やかだった。天候の良さはあるが、学校行事と重ならない 4 月開催の効果か？ 森の広場は野口夫妻が紙芝居・工作等中心的に対応、アンケートに親が答える合間に子供さんが組みひもや装飾品を嬉しそうに眺める場面が連続していた。

片付けを終了し疲労感はあるが、来訪者が等しく 1 日を楽しく過ごされたようだったと総括し散会した。皆さんご苦勞様でした。

**募金：**¥2,542 会の収入とする。



樹護の会の仲間の助勢(1)



同(2)杉材の運搬



言うことなし



広場の様子



受付 アンケート そして森岡さん



手工芸のコーナー



紙芝居・木登りネットと森岡さん



## 囲いやま森の会 活動記録（第 374 回）

壱岐貞俊

日 時：2018.5.05（土）9:30～12:30、天気：晴

参加者：赤石/壱岐/三嶋/森岡/森山計 5 名

ゴールデンウィークの関係か、又はオープンフォレスト疲れか、さわやかな気候にも拘わらず参加者は 5 名。繁茂する雑草対策を大々的に展開するつもりで意気込んできたが、刈払は少しエリアを限定し、定例作業日には珍しく畑仕事の比重が高かった。

○樹護の会に三嶋さんが刈払機を持って助っ人、4 月は 1 回で 2 回目の活動、ゴミの収集と森の中の整理などを実施、ミーティング場所を決め、当面の作業相談など。

・5 月 15 日の「安全講習会」出席希望者は 10 日までに壱岐へ連絡の事

### (1) 打合せ等

- ・西岡さん、OF 担当を了解。
- ・会計業務について、三嶋さんから懇切丁寧な説明あり。赤石さんに引継ぎ完。

### (2) 作業

- ・北縁の入口周り、南側広場、南西景観エリア畑周りの刈払と一部片付。
- ・コンニャク定植、サツマイモ等水やり、畑の雑草取り。

### (3) 自然観察等

- ・ヤブカラシ、クズ及び笹の芽吹き（刈払や畑の雑草取りの対象）



会計の引継ぎ 入口周り刈払後



畑の様子(上面)



畑の様子(下面)

## 囲いやま森の会 活動記録（第 375 回）

壱岐貞俊

2018. 5. 15（火） 10:00～12:00 晴

参加者：赤石/壱岐/木村/野口/三嶋/山口/森岡

計 7 名

絶好の作業日和だと思うが、前回に引き続き参加者は 7 名。ゴミ出しの分別要領を再度全員で確認後、小 1 時間くらいで養生まで完了。ゆっくりした気分で初夏の森散策と洒落込んだ。ワラビ移植の件だが、あまり手がかからず繁茂するなら、我々の畑には最適だと考えていたが、提案者の木村さんは畑では気がひけるようで、森の各所に移植することにした。

### (1) 打合せ等

- ・「森の音楽会」は 9 月 30 日(日)の予定。ステージ・客席の補修を計画。
- ・今日午後は、14 時から「里やま活動の安全講習会」、参加者 56 名

### (2) 作業

- ・収集ゴミの分別・仮置き場所への運搬と養生。
- ・北縁刈払と片付け。
- ・畑での水やり、雑草取り。

### (3) 自然観察等

- ・ホウチャクソウ、キンランの実(共に脱落多し)
- ・植生観察エリアのウミズザクラ(生育悪し、日照の関係か南広場のものと好対照)
- ・同上エリアのコナラ 2 本日照障害・危険木の観点から処置要か
- ・ヒロハシデチチタケ・クワの実のツキが多い、熟れたのを食す



ゴミ分別作業の様子



キンランの実



ヒロハシデチチタケ(髷の白点)



北側道路沿いの刈払後



仮置き場のゴミ養生

## 囲いやま森の会 活動記録（第 376 回）

壱岐貞俊

日 時：2018.6.02（火）10:00～12:30 晴

参加者：赤石/壱岐/木村/野口/馬場/三嶋/松戸/森岡/森山/山口/岩井 計 11 名

会員外：岡部（岩井さん引率）

森に来て直ぐ木村さんが持ち込んだ移植用のワラビ 3 パックを倉庫脇で発見。雑草が気になるが、先ずはこの先の新たな森の楽しみを期待し、利用できる農具を総動員し、陽当たりの良さを縛りに 3 班に分かれ森の各所に植え込んだ。岩井さんは、地域新聞の里山関連記事を見て「三吉の森」を尋ねられたが、「三吉の森」では岩井さんの動機を汲んで「囲いやま」を紹介されたとのこと。岩井さん（西馬橋）が入会。

打合せ等

- ・スズメバチに係る安全講習会の件報告。ポイズンリムーバー・蜂さされ用軟膏・救急連絡リスト作成等ポイントについて確認。ポイズンリムーバーの使い方の練習を実施するとよいとの意見。

- ・野口さんが受講した「森づくり安全研修会」は 5 日間で結構ハード、動力機：チェーンソーなどの講習（訓練と試験）の概略紹介、チェーンソーを使う会員（里やま応援団）に受講を勧めることなどをしていきたい。

- ・ジャガイモの収穫は次回にやるか。樹護の会へも声掛けする予定。

- ・次回作業後の観察会を計画する。

(2)作業

- ・ワラビの定植 ・中央広場、南西景観ゾーンの刈払 ・畑での水やり、雑草刈り。

(3)自然観察等

- ・ヤマコウバシの実（作業広場のは実なし） ・コシロカネグモ



ワラビの定植作業



コシロカネグモ（背中背面）



同左（腹側）

## 囲いやま森の会 活動記録（第 377 回）

壺岐貞俊

日 時：2018.6.19（火）10～14 時、天気：晴

参加者：赤石/壺岐/木村/西澤/野口/馬場/三嶋/森山/山口 計 9 名

会員外：岡部さん

雨の心配を振り払うような空模様に先ずー安心。

ジャガイモが収穫時期を迎えているのでこの処理と林縁・入口周辺・南西景観エリアの雑草刈払に汗を流し、更に、昼食後梅雨時の観察会と洒落込んだ。

畑は 2 年目になるが、これまで収穫時に全員で喜びを共有した覚えがない。ジャガイモの収量にも驚いたが、ジャガイモ堀に精を出す会員の姿は美しい。3 畝のうち 1 畝分は 15 期生に OF 時の助勢お礼用に残して置いた。

### (1) 打合せ等

- ・ 応援団 2018 活動計画 特にステップアップ講座の立て直し
- ・ セタプロジェクトへの協力依頼等

### (2) 作業

- ・ ジャガイモ堀 ・ 各所刈払 ・ チェーンソー目立て ・ 刈払機調整

### (3) 自然観察等

- ・ 最初の発見か又はメンバーによるのか、この時期はキノコ観察の適期と知った。以下、今日の観察記録を示す。（筆者はただただ感心するのみ）
- ・ 開花 ネムノキ/ヒメジョオン/ヨウシュヤマゴボウ/アカメガシワ/ソクズ（蕾）  
ナガバハエドクソウ/ヒルガオ s p（雑種かも）ヤブガラシ/ヤブコウジ
- ・ 結実 キンラン/ホウチャクソウ/ヤマウコギ/オヤブジラミ/ミズキ/ヒメコウゾ  
マユミ/マグワ/ヤマグワ/エノキ
- ・ 鳥 ウグイス（囀り/シジュウカラ（声）/コジュケイ（姿を見ました）
- ・ 虫 ナガサキアゲハ/コシロカネグモ/カマキリの仲間(幼虫)/トンボエダシク？  
コガネグモの仲間(幼虫)/ダンゴムシ/エサキモンキツノカメムシ/ナミテントウ
- ・ その他 カナヘビ
- ・ キノコ ダイダイガサ/ヒビワレシロハツ/ベニタケの仲間/カワラタケ  
スエヒロタケ/アラゲキクラゲ/マンネンタケ



ジャガイモ堀の様子 ダイダイガサ（腰掛の表面）